

# 2017年12月期 決算説明会

株式会社 ミズホメディー(証券コード4595)

2018年3月1日

- I 2017年度 決算実績と  
2018年度 業績予想**
- II 今後の成長戦略**
- III (参考) 事業概要**

# 会社概要



商号	株式会社 ミズホメディー（証券コード4595）
設立	1977年11月2日
本社所在地	佐賀県鳥栖市藤木町5番地の4
代表者	代表取締役会長兼社長 唐川文成
従業員数	157名（2017年12月31日現在）
事業内容	診断薬事業…病院・開業医向け体外診断用医薬品の開発・製造・販売 OTC事業…OTC（薬局・薬店）向け検査薬の開発・製造・販売
主要取引先	東邦薬品株式会社、株式会社メディセオ、株式会社バイタルネット アルフレッサ株式会社、株式会社スズケン、富士フイルム株式会社 他
営業拠点	本社、東京営業所、大阪営業所、名古屋営業所、その他各地駐在
開発拠点	佐賀県鳥栖市 本社工場

※OTC（Over The Counter）： 医師の処方箋がなくても購入できる医薬品。  
薬局、薬店、ドラッグストアなどでカウンター越しに販売することに由来した名称

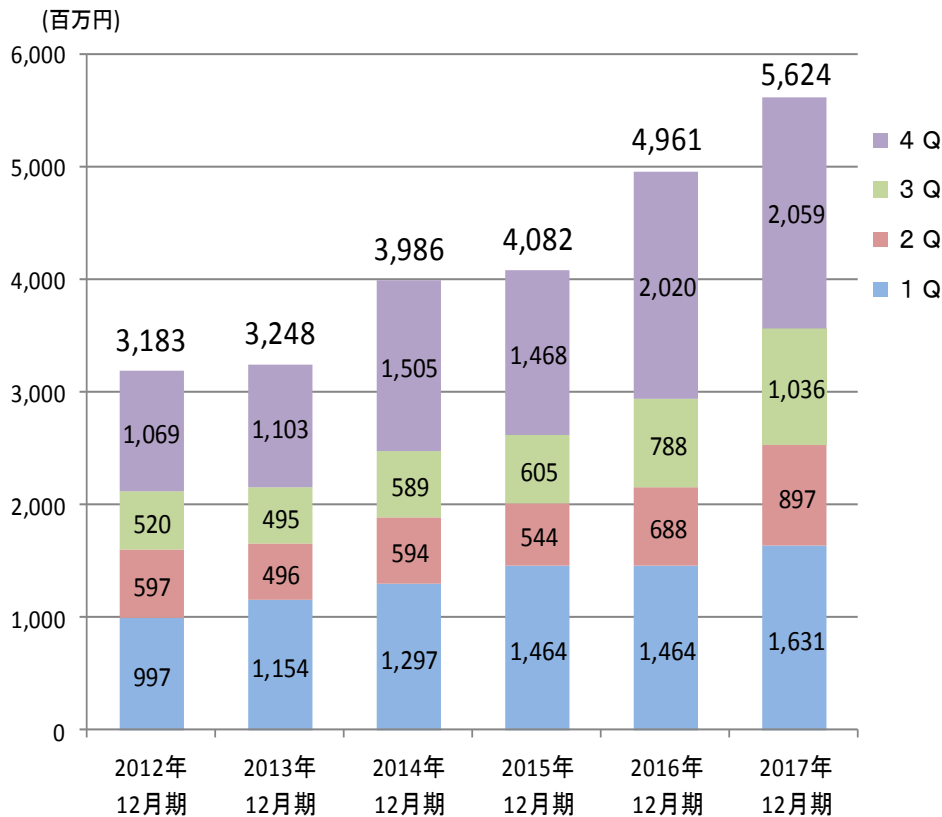
# **I 2017年度 決算実績と 2018年度 業績予想**

# 2017年12月期 決算実績 業績の推移(売上高、経常利益・当期純利益)

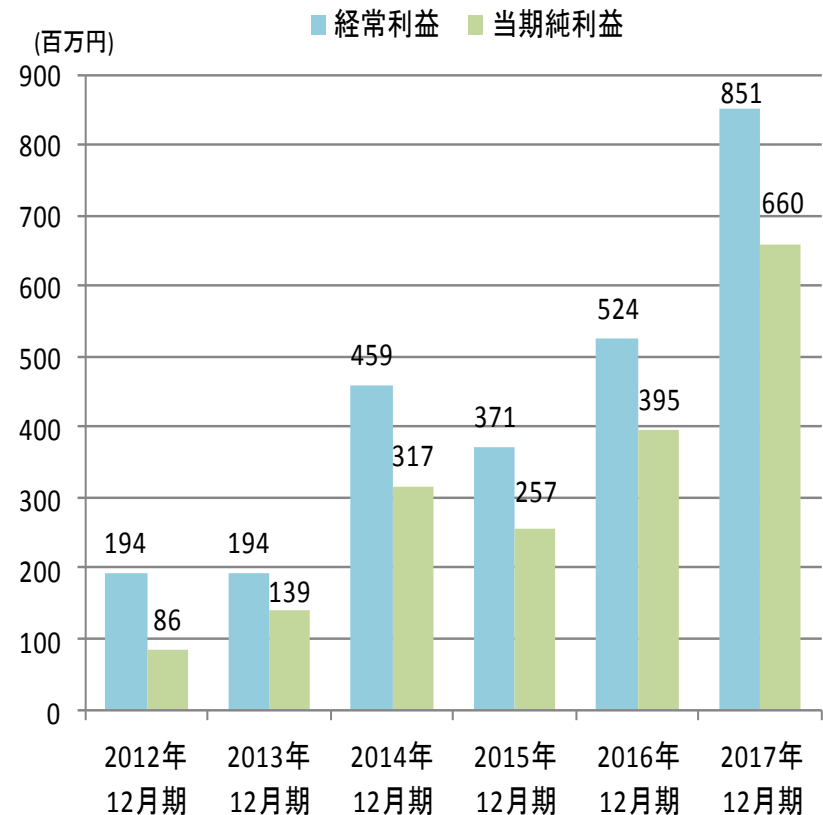


- 増収・増益基調継続（2011年より7期連続）
- 売上高及び利益は、第1・第4四半期（インフルエンザ流行期）に集中

## 売上高



## 経常利益・当期純利益



# 2017年12月期 決算実績 損益計算書 P/L (前期比、予想比)



- 売上高 5,624百万円 (前期比 13.4%増、予想比 3.8%増)
- 経常利益 851百万円 (前期比 62.2%増、予想比 29.6%増)

- ✓ 前期比：増収効果が、人件費や研究開発費などの販管費の増加をカバーし、大幅な増収増益
- ✓ 予想比：インフルエンザの早期流行開始の影響、機器試薬システムの伸長等により、大幅な上振れ着地（予想は2017年2月10日公表の当初予想）

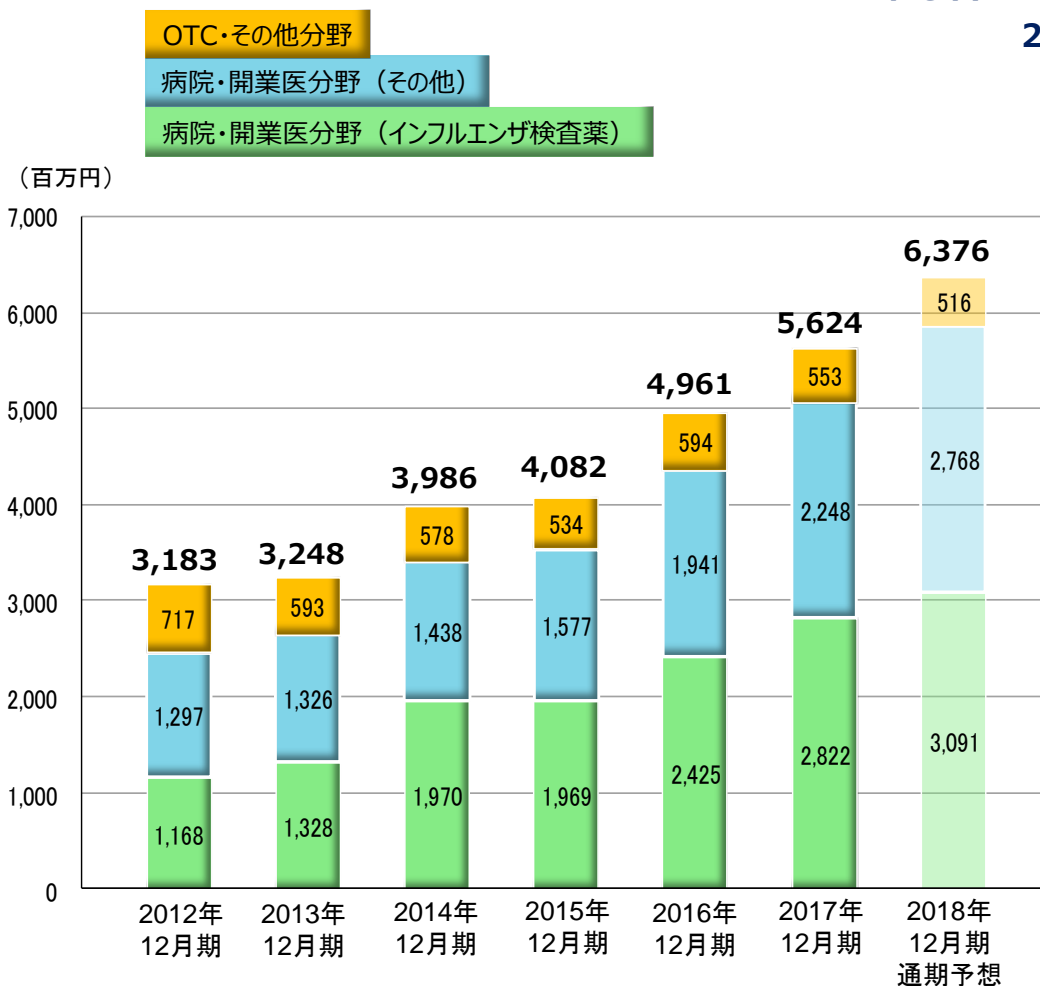
(百万円)

	2016年12月期		2017年12月期							
	実績		予想		実績		前期比		予想比	
	金額	構成比 %	金額	構成比 %	金額	構成比 %	増減額	増減率 %	増減額	増減率 %
売上高	4,961	100.0	5,417	100.0	<b>5,624</b>	100.0	662	<b>13.4</b>	207	<b>3.8</b>
差引売上 総利益	3,190	64.3	3,483	64.3	3,659	65.1	468	14.7	175	5.0
販売費及び 一般管理費	2,661	53.6	2,826	52.2	2,808	49.9	147	5.5	△17	△0.6
営業利益	529	10.7	657	12.1	<b>850</b>	15.1	321	<b>60.6</b>	193	<b>29.4</b>
経常利益	524	10.6	656	12.1	<b>851</b>	15.1	326	<b>62.2</b>	194	<b>29.6</b>
当期純利益	395	8.0	503	9.3	<b>660</b>	11.7	264	<b>67.0</b>	156	<b>31.2</b>

# 2017年12月期 決算実績 市場分野別の売上高推移



## 市場分野別の売上高



▶ 病院・開業医分野のインフルエンザ検査薬、その他感染症項目の検査薬も着実に増収基調を継続

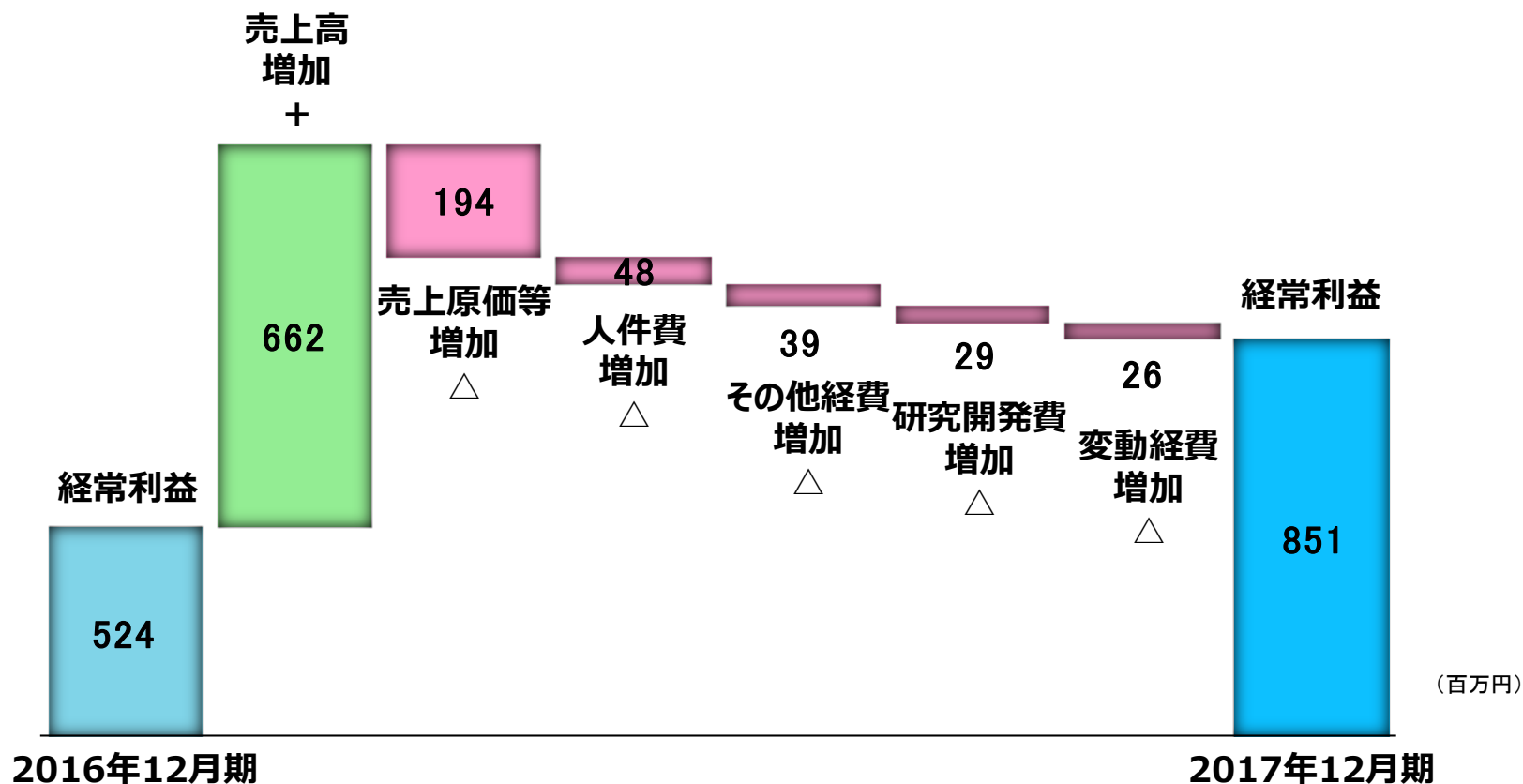
2017年12月期 実績 (5,624百万円 前期比13.4%増)

- 病院・開業医分野 (5,071百万円 16.1%増)
  - ◇ インフルエンザ検査薬 (2,822百万円 16.4%増)
    - ・イムリーダーの累計販売台数に比例して、試薬 (Auto Flu A,B)の出荷数が伸長
    - ・2017/2018シーズンの流行が早く開始(2年連続)
  - ◇ その他 (2,248百万円 15.8%増)
    - ・その他感染症項目の検査薬は、増収基調継続  
アデノ、A群β溶連菌、ロタ/アデノ、RSV  
検査薬など
    - ・新製品(2016~2017)は、売上高増加に貢献  
マイコプラズマ、RSV/ヒトメタニューモ、  
眼科用アデノ、肺炎球菌/レジオネラ検査薬など
- OTC・その他分野 (553百万円 6.9%減)
  - ・妊娠検査薬は、価格競争等により伸び悩み
  - ・排卵日検査薬は、スイッチOTCの影響により、  
薬局向け自社ブランド製品は減少傾向
  - ・武田コンシューマーヘルスケア株式会社向け製品  
(ハイテスターH) は堅調に推移

# 2017年12月期 決算実績 経常利益 増減要因



- 売上高662百万円の増加にともない、売上総利益が468百万円増加
- この大幅な増収が、人件費、研究開発費、その他経費等の増加を吸収し、2017年12月期の経常利益は、851百万円（326百万円の増益）





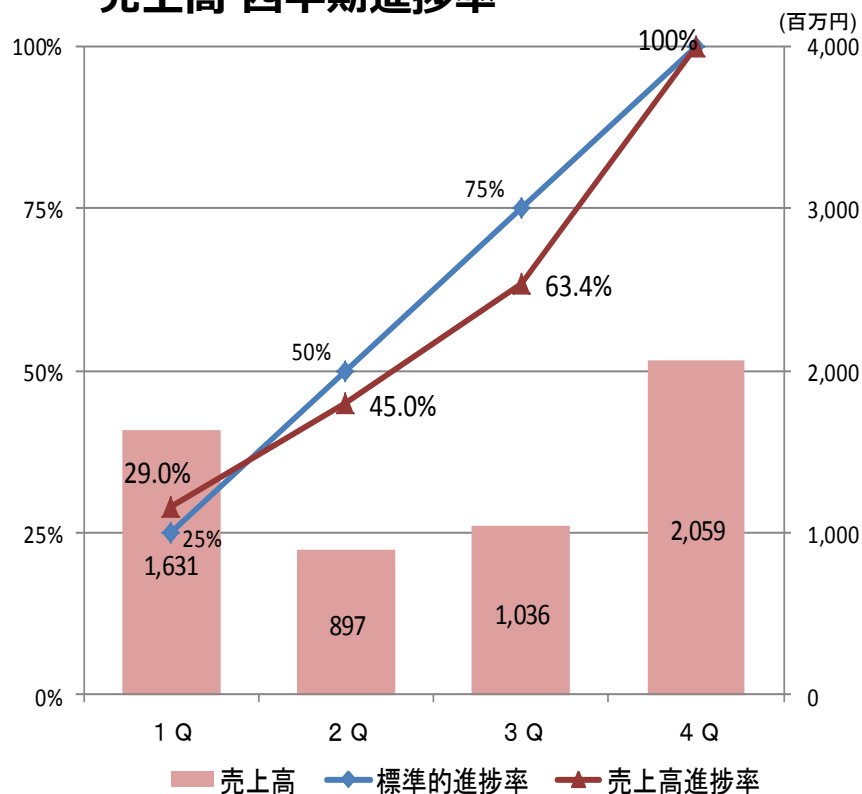
# 2017年12月期 決算実績

## 四半期進捗率の推移 (売上高・営業利益)

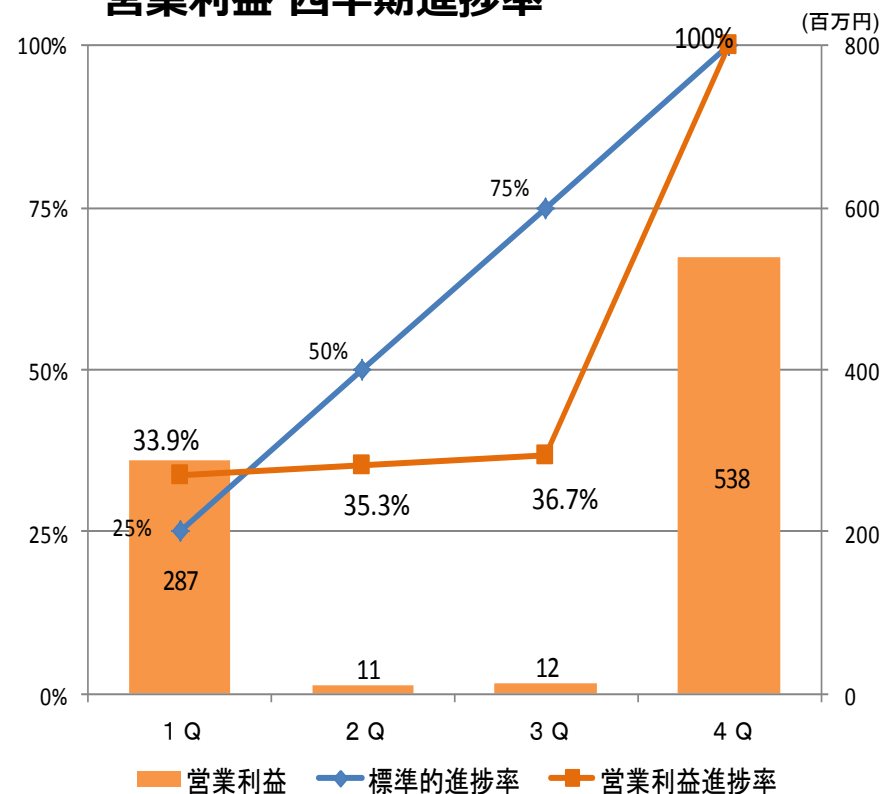


- 2017年12月期 四半期進捗率の推移 (通期実績を100%とした場合)
- 当社の特徴：『インフルエンザの季節変動により、売上高が1Qと4Qに集中する』ため  
⇒ 四半期進捗率の推移は、季節変動のない標準的進捗率から大きく乖離する傾向あり

### 売上高 四半期進捗率



### 営業利益 四半期進捗率



# 2017年12月期 決算実績 貸借対照表 B/S(資産)



(百万円)

	2016年 12月期	2017年 12月期	増減額	主な増減内容
流動資産	2,917	3,226	309	
現金及び預金	75	265	190	・売上債権の回収に伴う増加
受取手形及び売掛金	2,033	2,104	71	・主に第4四半期の売上高の増加
たな卸資産	746	785	38	
その他流動資産	61	71	9	
固定資産	1,124	1,151	26	
有形固定資産	923	939	15	
無形固定資産	5	8	2	
投資その他の資産	195	203	8	
資産合計	4,041	4,377	335	

# 2017年12月期 決算実績 貸借対照表 B/S(負債・純資産)



(百万円)

	2016年 12月期	2017年 12月期	増減額	主な増減内容
流動負債	1,329	1,162	△166	
支払手形及び買掛金等	341	458	117	・主に仕入債務の増加
短期借入金	459	81	△378	・売上債権回収に伴う返済による 減少(81は1年内長期借入金)
その他流動負債	528	622	94	
固定負債	816	777	△38	
長期借入金	184	102	△81	
その他固定負債	632	674	42	
負債合計	2,145	1,940	△204	
株主資本	1,896	2,436	540	
資本金	464	464	—	
資本剰余金	274	274	—	
利益剰余金	1,157	1,698	540	・2016年12月期配当金△118 ・当期純利益660
純資産合計	1,896	2,437	540	
負債純資産合計	4,041	4,377	335	

# 2017年12月期 決算実績 キャッシュ・フロー計算書



(百万円)

	2016年 12月期	2017年 12月期	主な内容
営業活動によるキャッシュ・フロー	187	877	<ul style="list-style-type: none"> <li>・税引前当期純利益 (+851)</li> <li>・減価償却費 (+77)</li> <li>・売上債権の増加 (△71)</li> <li>・仕入債務の増加 (+117)</li> <li>・法人税等の支払 (△176)</li> </ul>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△86	△107	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有形固定資産の取得 (△103)</li> </ul>
財務活動によるキャッシュ・フロー	△66	△580	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短期借入金の純減 (△378)</li> <li>・長期借入金の返済 (△81)</li> <li>・配当金の支払 (△118)</li> </ul>
現金及び現金同等物の増減額	34	190	
現金及び現金同等物の期首残高	41	75	
現金及び現金同等物の期末残高	75	265	

# 2018年12月期 通期業績予想(損益計算書 P/L)



## ➤ 2018年12月期もさらなる増収・増益を予想

■売上高 6,376百万円 (前期比 13.4%増) ■営業利益 913百万円 (前期比 7.5%増)

■経常利益 917百万円 (前期比 7.8%増) ■当期純利益 707百万円 (前期比 7.2%増)

● 2017/2018シーズンのインフルエンザの流行が例年より早く始まった影響により、2017年は大幅な増益(経常前期比62.2%増)で着地。このため、2018年通期予想の各利益の増加率は鈍化(経常前期比7.8%増)

● インフルエンザの流行の開始時期による業績の前ずれ・後ずれが発生した場合、短期的には対前期増減率に影響を及ぼすものの、中期的な増収・増益トレンドには影響せず(2年で75%増)

(百万円)

	2016年		2017年12月期		2018年12月期			
	実績	当初予想	実績		通期予想			
	金額	金額	金額	前期比 %	金額	構成比 %	増減額	前期比 %
売上高	4,961	5,417	5,624	13.4	<b>6,376</b>	100.0	751	<b>13.4</b>
売上総利益	3,190	3,483	3,659	14.7	4,093	64.2	433	11.9
販売費及び一般管理費	2,661	2,826	2,808	5.5	3,179	49.9	370	13.2
営業利益	529	657	850	60.6	<b>913</b>	14.3	63	<b>7.5</b>
経常利益	524	656	851	62.2	<b>917</b>	14.4	66	<b>7.8</b>
当期純利益	395	503	660	67.0	<b>707</b>	11.1	47	<b>7.2</b>

# 2018年12月期 市場分野別 売上高予想



## ◆病院・開業医分野 — 前期比 15.5% 増 5,859百万円

- インフルエンザ検査薬は、機器の累計販売台数の堅調な伸びに比例して、試薬の売上増加
- その他の感染症項目のアデノウイルス、A群β溶連菌、ノロウイルス等は、引き続き増収基調維持、マイコプラズマ、RSV/ヒトメタニューモ、肺炎球菌/レジオネラ等の新製品群は、シェア拡大中
- 遺伝子POCT検査用『スマートジーンMyco』は、2018年夏頃発売に向け準備中

## ◆OTC・その他分野 — 前期比 6.6% 減 516百万円

- 排卵日検査薬のスイッチOTCにより、妊娠検査薬と共に市場の活性化が期待されるも、
- 2018年は、武田CH向け製品、自社ブランド製品及びPB製品が、市場において一部競合する状況が継続する可能性を考慮し、ほぼ横ばいを予想

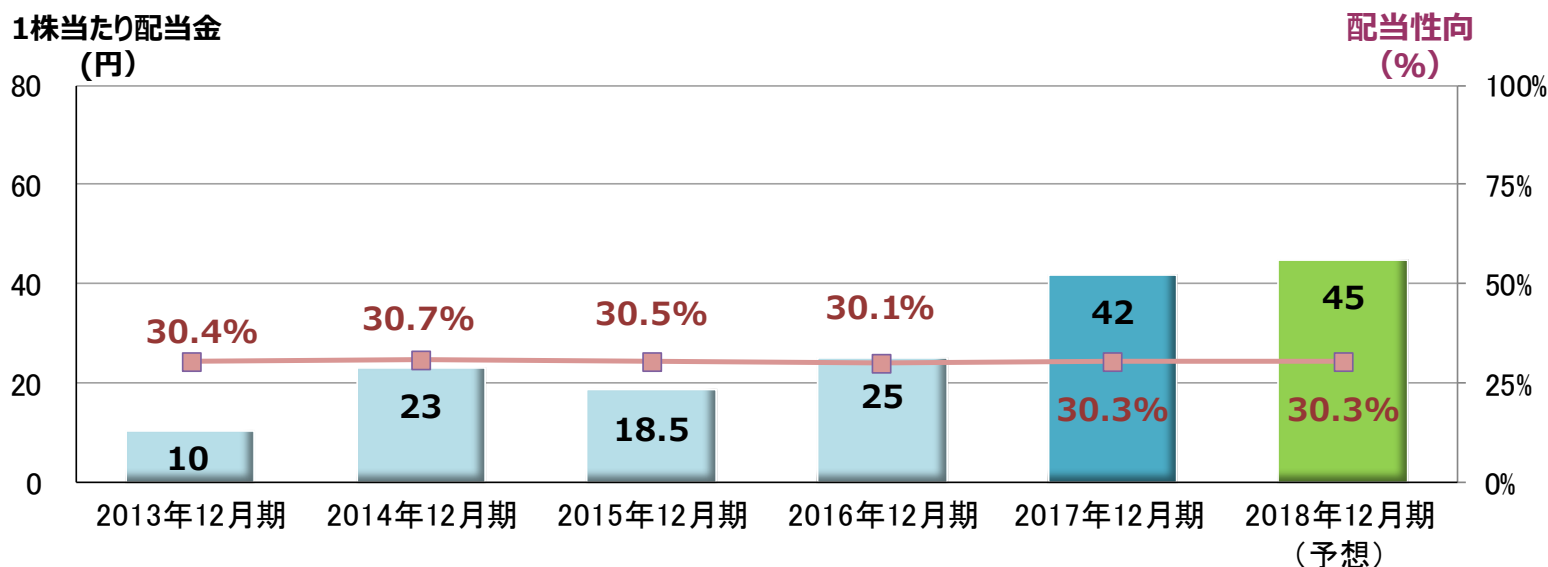
(百万円)

	2017年12月期		2018年12月期			
	実績		通期予想			
	金額	構成比%	金額	構成比%	増減額	増減率%
病院・開業医分野	5,071	90.2	<b>5,859</b>	91.9	788	<b>15.5</b>
(インフルエンザ検査薬)	2,822	50.2	3,091	48.5	268	9.5
(その他)	2,248	40.0	2,768	43.4	519	23.1
OTC・その他分野	553	9.8	<b>516</b>	8.1	△36	△ <b>6.6</b>
合計	5,624	100.0	<b>6,376</b>	100.0	751	<b>13.4</b>

## 配当方針

『業績に応じた配当を行うことを基本としつつ、配当性向、企業体質の一層の強化及び今後の事業展開に備えるための内部留保の充実などを総合的に勘案して決定』

- この方針を踏まえ、**配当性向30%**を目標
- 2017年12月期の配当は、1株当たり42円（配当性向30.3%）
- 2018年12月期の配当予想は、1株当たり45円（配当性向30.3%）



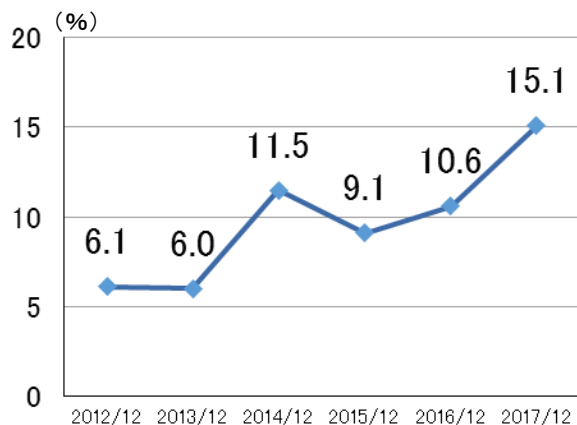
- 1株当たりの配当金は、2015年10月の株式5分割及び2017年7月の株式2分割に伴う影響を加味しております。

# 財務比率等の推移

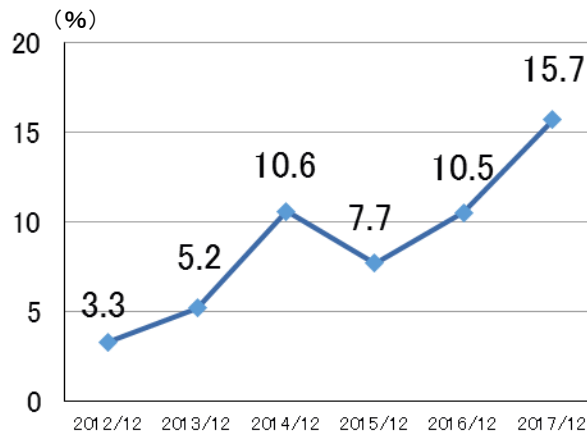


- 利益率は売上面、資産面からも増加基調

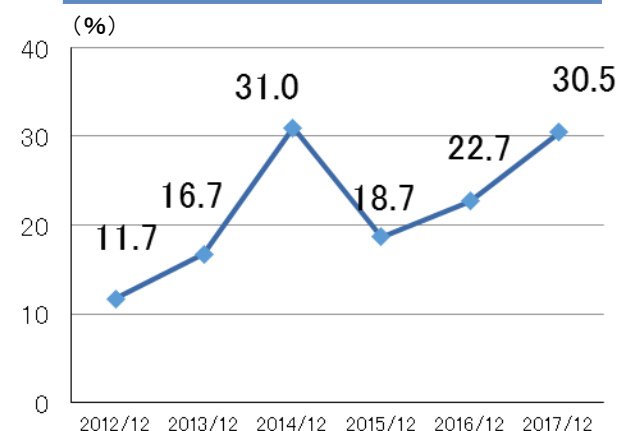
## 売上高経常利益率



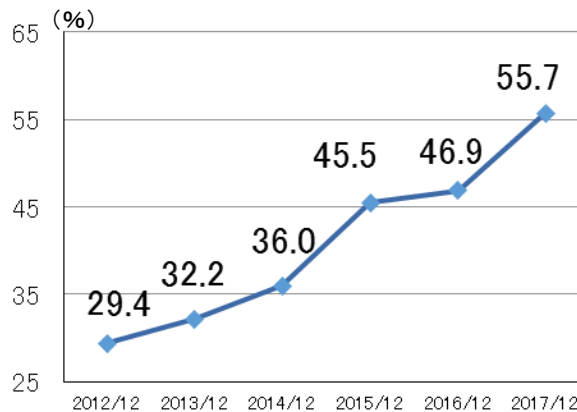
## 総資産利益率 (ROA)



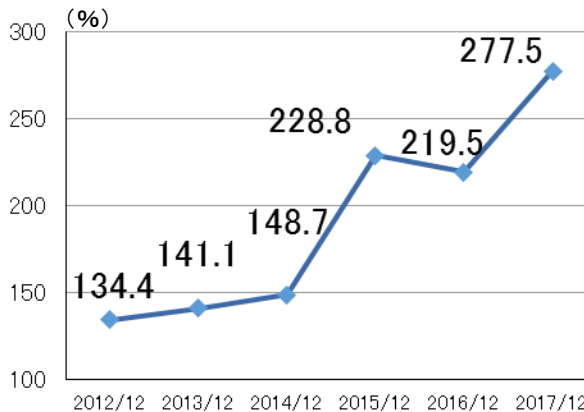
## 自己資本利益率 (ROE)



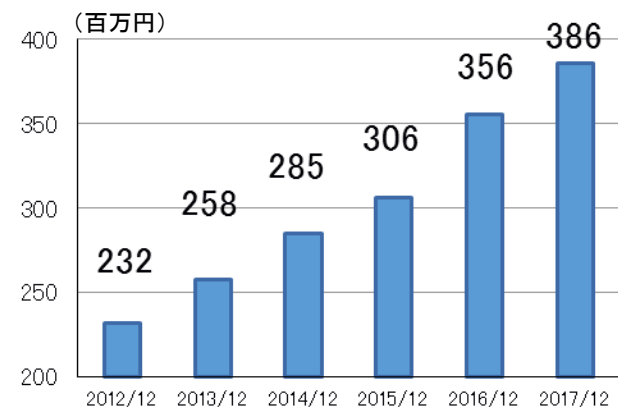
## 自己資本比率



## 流動比率



## 研究開発費推移





## Ⅱ 今後の成長戦略

## ▶ 遺伝子POCT検査機器・試薬システムの製品化

### オールインワン（遺伝子抽出・増幅・検出）試薬による 遺伝子POCT検査を実現

遺伝子検査の全てを  
1つの試薬と1台の小型装置に集約

- ・1ステップ<sup>o</sup>
- ・短時間
- ・安価

遺伝子POCT検査キット  
『スマートジーン<sup>®</sup> Myco』 許認可取得  
2018年夏頃 上市予定



## ▶ 遺伝子検査のPOCT化による遺伝子検査マーケットの拡大

### ● 感染症診断分野における遺伝子POCT検査の実用化

- ・ 感染症の原因菌やウイルスを早期に検出 ⇒ 初期感染の見逃し防止, 早期治療
- ・ 各種抗菌剤に対し耐性化した遺伝子変異部を増幅して特異的に検出 ⇒ 適確な投薬の選択

### ● 診断・治療現場への遺伝子POCT検査の普及

- ・ 装置価格の低減, 簡易な測定操作, 結果判定の迅速化 ⇒ 一般病院検査室, 開業医での検査実施
- ・ 小児, 老人, 免疫不全患者における診断の迅速化 ⇒ 重篤化の低減と死亡率の低下, 院内・家族内感染など水平感染の防止

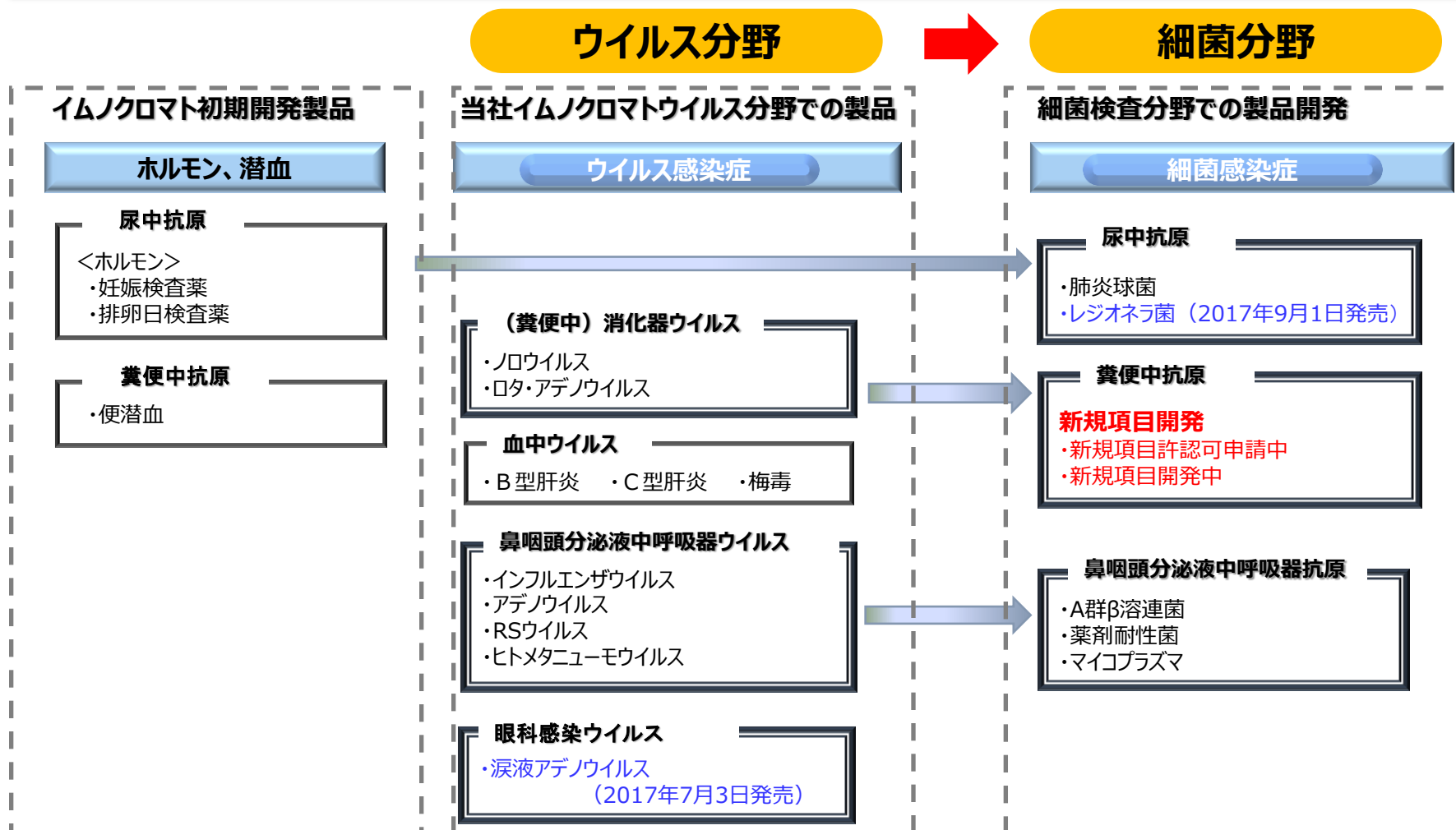
### ● 遺伝子POCT検査市場の創出

- ・ 新たな遺伝子POCT検査項目の開発と製品化（夏場および通年流行の感染症）

#### <開発項目分野>

- ・ 呼吸器感染症項目（ウイルス, 細菌）
- ・ 消化器感染症項目（ウイルス, 食中毒菌）
- ・ 薬剤耐性菌項目

## クイックチェイサーシリーズの拡大



## 技術をベースにしたハイブリッドな成長戦略

新規診断技術の創出

マーケット展開

技術革新 [ウイルス・細菌に特化]

病院開業医分野

OTC・その他分野

### 確定診断技術

遺伝子POCT検査による  
確定診断機器・試薬システムの市場展開

- ・呼吸器感染症項目
- ・消化器感染症項目
- ・薬剤耐性菌項目



- ・感染初期の確定診断  
需要を拡大

◎環境・食品検査分野  
への応用開発

- ・遺伝子POCT技術を応  
用した環境・食品微生物  
検査への展開

### スクリーニング検査技術

クイックチェイサーシリーズのシェア拡大

- ・対象疾患の拡大
- ・既存製品の改善・改良

◎次世代多項目マルチ検査システムの開発

- ・正確性・迅速性への更なるシーズ開発



- ・ウイルス分野から  
細菌分野への市場  
創出

スイッチOTCマーケット  
での業績拡大

- ・スイッチOTC製品の  
先発販売
- ・武田コンシューマーヘル  
スケアとの販売提携

安定的収益と企業成長

自社開発・製造販売一貫体制の強みを活かした両分野での成長戦略

# Ⅲ（参考）事業概要



※POCT（Point of Care Testing）：診察室、病棟及び外来患者向け診療所など、患者に近い医療現場での検査

# 病院・開業医分野の主な製品



## ① POCT製品(迅速診断キット)

### クイック チェイサー シリーズ

大病院からクリニックまで、どのような医療現場でも使うことができる、POCT製品(迅速診断キット)シリーズ

#### 呼吸器感染症検査薬

##### インフルエンザウイルス



##### アデノウイルス



##### RSウイルス



##### StrepA(A群β溶連菌)



##### RSV/hMPV



##### hMPV



##### マイコプラズマ



##### 肺炎球菌/レジオネラ



#### 消化器感染症検査薬

##### ノロウイルス



##### ロタ/アデノ



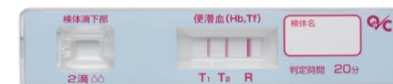
#### 血中ウイルス検査薬

##### HBV (B型肝炎)



#### 尿糞便検査薬

##### 便潜血





## ② POCT機器試薬システム



### ➤ 高感度感染症迅速診断システム

- ◎ 当社メンブレン技術と富士フイルム株式会社の機器製造ノウハウを融合して実現
- ◎ インフルエンザウイルス、マイコプラズマ、RSV/Adeno の高感度製品3項目、アデノウイルス、Strep A(A群β溶連菌)の計5項目をラインナップ
- ◎ 2018年2月、さらに実用性を向上させた後継機『Immuno Reader II』を発売

デンストメトリー分析装置

クイックチェイサー Immuno Reader



デンストメトリー分析装置

クイックチェイサー Immuno Reader II



【専用試薬】

クイックチェイサー® Autoシリーズ

Flu A,B



Myco



RSV/Adeno



Adeno



Strep A



### <製品の特長>

#### 【I・II共通】

- ◆ 早期診断が可能  
(発症初期の診断精度向上)
- ◆ 装置による結果判定  
(判定結果はモニター表示  
とプリントアウト)

#### 【IIの実用性向上ポイント】

- ◆ コンパクト化(省スペース)
- ◆ タッチパネルの採用  
(操作性・視認性向上)
- ◆ バーコードリーダー搭載  
(検体ID情報等読取可)

# OTC・その他分野の主な製品

## OTC(薬局・薬店)向け製品



### ▶ 妊娠検査薬・排卵日検査薬

◎ 自社ブランド「P-チェック」での販売や大手チェーン店とのPB提携も実施

#### 【妊娠検査薬】



#### 【排卵日検査薬】



※妊娠検査薬は早期に展開しシェアトップ

◎ 武田コンシューマーヘルスケア(株)販売のハイテスターシリーズ

#### 【妊娠検査薬】



#### 【排卵日検査薬】



## IRに関するお問い合わせ先

**株式会社ミズホメディー 総務部**

**電話 : 0942-85-0303**

**e-mail : [ir@mizuho-m.co.jp](mailto:ir@mizuho-m.co.jp)**

### 将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。